

## 平成 30 年度 第8回定時総会及び意見交換会について

### 1. 開催日時・場所

日時：3月6日（水）13:30～17:00

場所：都道府県会館 1階大会議室（東京都千代田区平河町 2-6-3）定員 200 人程度  
 意見交換会 1（4階 Room 401 定員 60～100 人程度）  
 意見交換会 2（4階 Room 402 定員 60～100 人程度）

時間	プログラム（案）	場所
13:30 ～ 13:40	総会・開会挨拶 環境省（中井統括官） 【ご来賓挨拶】金融庁（佐々木総政局長）	1階 大会議室
13:40 ～ 13:50	決議事項	
13:50 ～ 14:00	基調講演 UNEP FI（安井氏）	
14:00 ～ 14:20	最優良取組事例（環境大臣賞、運営委員長賞）表彰	
14:20 ～ 14:45	活動報告及び今後の運営について	
14:45 ～ 15:00	【休憩・会場移動 15分】	-
15:00 ～ 16:35	意見交換会	4階各 Room
16:35 ～ 16:45	【会場移動 10分】	-
16:45 ～ 16:55	意見交換会総括	1階 大会議室
16:55 ～ 17:00	閉会挨拶	

### 2. 総会議事（予定）

- (1) 決議事項（案：ESG 金融大国となるための戦略）
- (2) 2018 年度 最優良取組事例（環境大臣賞及び運営委員長賞）表彰
- (3) 報告事項：平成 30 年度 21 世紀金融行動原則活動報告
  - ① 運営委員会の活動
  - ② 平成 30 年度取組事例
  - ③ ワーキンググループ（WG）の活動

### 3. 意見交換会

- 平成 28・29 年度と同様に意見交換会の開催を提案。
- ただし、「地方創生テーブル」「ESG 投資テーブル」に分けて実施していたが、「いつまで直接金融と間接金融を分けて議論するのか」との意見もあった。
- 昨年度と同様の「意見交換会形式で二つ」にするか、または大きな「シンポジウム形式一つ」に戻すか。
- 参加者について、昨年度は「地方創生」は署名機関に限定した。今年是一般からの受付はどうするか。
- テーマ候補として「ESG テーブル」と「SDGs テーブル」が考えられる。

〈参考〉過去のシンポジウム及びテーマ別意見交換会 開催実績

### ○シンポジウム

(H24) 基調講演「持続可能な開発のための世界経済人会議」

WBCSD マネージング・ディレクター イマン・ストウラテヌス氏

挨拶 国連環境計画金融イニシアティブ 特別顧問 末吉 竹二郎氏

パネルディスカッション「持続可能な社会／低炭素社会の創出のためのファイナンス」

(H25) 基調講演「地域の未来の選択肢～小説『プラチナタウン』の目指すもの」

小説家 榎 周平氏

基調講演「再生可能エネルギービジネスによる地域興し～グリーンファンドの未来への投資～」

UNEP FI 特別顧問 末吉 竹二郎氏

パネルディスカッション「金融の地域の協働による持続可能な社会の実現に向けて」

(H26) 基調講演「足元の試み（エコ貸貸）から見た金融への期待」

慶應義塾大学大学院・環境情報学部 教授／元環境省事務次官 小林 光氏

パネルディスカッション「21世紀金融行動原則の可能性～ワーキンググループ活動の視点から考える～」

(H27) 基調講演「コンパクトシティ政策を中心とした包括的アプローチによる持続可能な都市・地域活性化モデルケース」

富山市長 森 雅志 氏

基調講演「『地方創生』、その実現に必要な『環境』に配慮した循環型社会構築と『金融機関』への期待」

(公社) 日本ニュービジネス協議会連合会 会長/NSG グループ代表 池田弘氏

### ○テーマ別意見交換会

「地方創生テーブル」

(H28) 「地方創生と金融機関 ～持続可能なビジネスモデルの手掛かりを探る～」

(H29) 「地域金融機関の ESG への取組 ～持続可能なビジネスモデルの手がかりを探る～」

「ESG 投資テーブル」

(H28) 「長期的な企業価値に結びつく目的を持った対話（エンゲージメント）とは何か」

(H29) 「企業価値に結びつく情報開示とは何か～改善した統合報告書、良い統合報告書を参考に～」

以 上